

ControlDesk の新機能

テストおよび試験ソフトウェアである ControlDesk のバージョン 2.8 では、異なるキャプチャサービスをグローバルタイム基準に同期させることができるため、データを簡単に比較できて便利です。再コンパイルすることなく PPC ファイルにパラメータセットを書き込むこともできます。

➤ グローバルタイム基準を使用した同期データ取得

同期データ取得

ControlDesk 2.8 では、ControlDesk のアニメーションモードの開始を基準に定義されたグローバルタイムに複数のデータ取得を同期させることができます。グローバルタイム基準を使用すると、異なるキャプチャサービスによって取得されるデータの比較が容易になります。グローバル同期

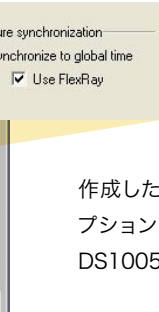
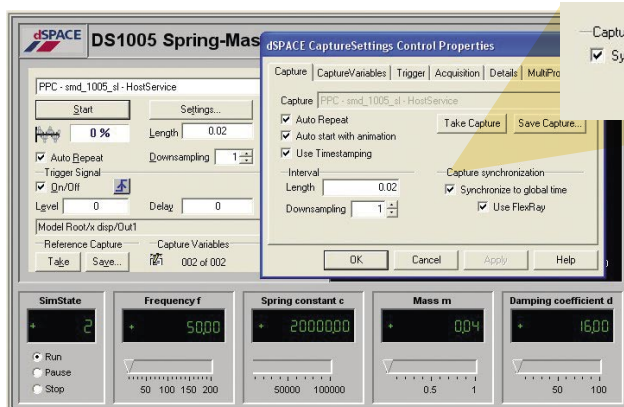
パラメータセットの直接更新

[(Create Application Image)]

ControlDesk 2.8 では、パラメータエディタのコンテキストメニューに [Create Application Image] という新しい項目があります。この項目を使用すると、再コンパイルすることなく PPC ファイルにパラメータ

➤ FlexRay のサポート

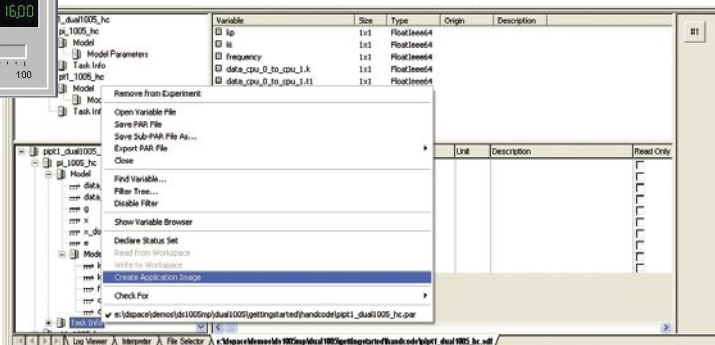
➤ パラメータセットの直接更新



く PPC ファイルにパラメータセットを書き込むことができます。ただし、Real Time Interface のオプション [Enable data set storage in application] を使用して、リアルタイムプログラムを作成したことが前提条件となります。このオプションは、当初は MicroAutoBox および DS1005 PPC Board で使用可能です。

▲ ControlDesk 2.8 では、データ取得をグローバルタイム基準に同期させることができます。

化は、キャプチャ設定コントロールでホストサービスごとに個別に起動できます。グローバル同期化を起動すると、プロッタ計器の時間軸にグローバルタイムが表示され、ストリーミングされた IDF ファイルのタイムスタンプとして使用されます。



▲ 新しい [Create Application Image] オプションを使用すると、再コンパイルすることなく PPC ファイルにパラメータセットを書き込むことができます。

同期化機能では、計測および適合ソフトウェアである CalDesk と同じアルゴリズムが使用され、約 60 μs の精度が実現されます。

同期化されたリアルタイムシステムを FlexRay バス経由で接続すると、グローバル同期化機能の精度を 2 倍 (30 μs まで) 高めることができます。さらに、異なるキャプチャサービスからの信号を ControlDesk の 1 つのプロッタに混合することもできます。

用語解説

PPC ファイル -

シミュレーションアプリケーションを含む実行可能ファイル

IDF ファイル -

stream-to-disk 方式のデータ取得によって生成された中間データファイル

dSPACE Release 5.1 の一部としての ControlDesk 2.8 のリリース日については、www.dspace.com/goto?releases をご参照ください。